

# 静岡県議会だより

令和7年度県議会だより題字コンクール 特選作品 作者/藤下憂翔さん(沼津西高校)



- 1面 可決した主な議案  
2月定例会ダイジェスト
- 2~3面 ピックアップ本会議
- 4面 ピックアップ委員会  
県議会トピックス  
本会議・委員会を傍聴しませんか  
写真・題字コンクール入賞者発表  
県議会クイズ

令和8年4月26日(日)



令和7年度県議会だより写真コンクール 春の部特選「花に誘われて」 撮影者/松浦嘉人さん(浜松市浜名区) 撮影地/浜松市中央区

## 令和8年度一般会計予算の概要 総額1兆4141億円 (対前年度当初予算比 +418億円 3.0%増)

### 幸福度日本一の静岡県の実現

#### (I) 未来を創る力

- デジタル人材の確保・育成 .....1億7500万円
- 強い経済への投資(地域未来基金の造成) ..... 120億7000万円
- 新水産業モデル構築促進 ..... 1700万円
- クマの市街地への出没対策 ..... 1400万円
- 海外誘客の強化  
(海外からの富裕層観光者向け旅行商品の造成ほか) ..... 21億6100万円

#### (II) 豊かな暮らし

- 児童・生徒に応じたきめ細かな支援 ..... 6億8900万円
- 県立高校の魅力化・特色化 ..... 7億300万円
- 医師確保対策 ..... 40億4900万円
- 多文化共生社会の実現  
(インターカルチュラル社会実現に向けた環境整備) ..... 1億2400万円
- スポーツの成長産業化 ..... 1億3700万円

#### (III) 県民の安心

- 木造住宅の耐震化・減災化の促進 ..... 4億4700万円
- 要配慮者の避難対策促進 ..... 1400万円

#### (IV) その他

- デジタル技術を活用したLGX推進 ..... 11億4300万円  
ほか

## 可決した主な議案

### 令和8年度関係

- ◆令和8年度一般会計予算(概要は左をご覧ください) 1兆4141億円
- ◆静岡県地域未来基金条例  
地域産業の成長発展に資する事業に要する経費に充てる基金を創設するための条例です。

### 令和7年度関係

- ◆令和7年度一般会計補正予算 351億円の増額  
物価高への対応  
暮らしの安定  
防災・減災・国土強靱化の推進 ほか

「議案に対する各党派等の賛否」は、こちらをご覧ください



## 意見書・決議

### ◆意見書(件名)

- ◎国と地方自治体が連携したインテリジェンス体制の整備を求める意見書
- ◎子の安全性を担保した離婚後共同親権制度の運用を求める意見書
- ◎スマート農林水産業の推進を求める意見書
- ◎クマ被害防止対策への支援強化を求める意見書
- ◎太陽光発電設備の適正な廃棄処理及びリサイクル推進を求める意見書

### ◆決議(件名)

- ◎北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を目指す決議  
(概要は2面をご覧ください)

意見書・決議の全文は、こちらをご覧ください



## 2月定例会ダイジェスト

2月定例会は2月17日から3月16日までの28日間開催しました。開会日に、知事から令和8年度静岡県一般会計予算案など92議案が提出され、そのうち物価高への対応や防災・減災・国土強靱化の推進など国の補正予算に伴う経費等を盛り込んだ令和7年度一般会計補正予算案を含む8議案については緊急を要することから、開会日に所管する常任委員会で審査を行い可決しました。

6日間にわたる代表質問および一般質問では、20人の議員が登壇し、知事の政治姿勢や令和8年度当初予算編成、災害時の被災者支援策など県政全般について活発な議論を交わしました。

3月2日には、富士山保全・適正活用推進、SNS適正利用対策の各特別委員会委員長が調査結果を報告し、知事に政策提言を行いました。また質問最終日の3月3日には、知事から教育長の選任に関する追加議案が提出されました。

その後、7つの常任委員会で議案の詳細な審査を行い、3月16日の最終本会議で常任委員長の審査結果報告の後、討論を経て採決を行い、全ての議案を可決または同意しました。

また同日、議員提出議案1件、委員会提出議案1件のほか、国に対する5件の意見書案および北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を目指す決議案が提出され、全て可決しました。

県議会ホームページのご案内

議会の日程や質問議員・項目、インターネット中継、キッズサイト、議員の紹介、本会議や委員会の会議録などを掲載しています。



インターネット版県議会だよりのご案内

パソコンやスマホでもご覧いただけます。(音声による「声の県議会だより」もあります。)



県議会公式Xのご案内

議会の情報をいち早くお届けします。





ピックアップ 本会議

2月定例会本会議の質問と答弁から

代表質問



2月24日午前  
藤曲 敬宏  
(自民改革会議)



2月24日午後  
沢田 智文  
(ふじのくに県民クラブ)



2月25日午前  
早川 育子  
(公明党静岡県議団)



一般質問



2月25日午後  
塚本 所 大  
(無所属)



2月27日午後  
勝俣 昇  
(自民改革会議)



3月3日午後  
鈴木 利幸  
(自民改革会議)



2月25日午後  
河原崎 全  
(自民改革会議)



3月2日午前  
杉本 好重  
(自民改革会議)



2月26日午前  
天野多美子  
(自民改革会議)



3月2日午前  
落合 慎悟  
(自民改革会議)



2月26日午前  
鈴木唯記子  
(ふじのくに県民クラブ)



3月2日午後  
伊藤 和子  
(ふじのくに県民クラブ)



2月26日午後  
大石 健司  
(自民改革会議)



3月2日午後  
鳥澤 由克  
(自民改革会議)



2月27日午前  
江間 治人  
(自民改革会議)



3月3日午前  
伊丹 雅治  
(自民改革会議)



2月27日午前  
宮沢 正美  
(自民改革会議)



3月3日午前  
盛月 寿美  
(公明党静岡県議団)



2月27日午後  
山田 新  
(ふじのくに県民クラブ)



3月3日午後  
小長井 由雄  
(ふじのくに県民クラブ)



※二次元コードから各議員の質問の録画中継をご覧ください

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を目指す決議の概要

被害者家族の高齢化が進む中、高市首相は拉致問題の早期解決に向けて取り組む姿勢を表明した。本県議会としても拉致問題の早期解決を目指し、県民の理解を促進する取り組みを一層推進し、被害者家族に寄り添う姿勢を堅持していく。

会派別議員数

自民改革会議	40人
ふじのくに県民クラブ	17人
公明党静岡県議団	5人
無所属	6人
定数68人 現員 68人	

行政

令和8年度当初予算編成

現場の様々な課題や要望をどう予算に反映したか。厳しい財政状況の中、持続可能な静岡県の実現に向け財源を捻出し、反映した。

市町の地震津波対策の支援拡充や低コストの住宅耐震化支援制度の導入、富裕層インバウンド向け旅行商品の造成、少子化に適応した子育て環境の整備、売上高100億円企業の創出促進、公共ライドシェアの全県展開、特色ある教育活動推進や施設・設備の充実など、積極投資による社会経済の好循環創出に取り組む。

施設更新が本格化する時期を捉え、副知事をリーダーとするプロジェクトチームの下で官民連携手法の導入可能性調査を行い、官民の役割分担や収支の見直し、民間事業者の意向把握等について詳細に検討する。調査を通じて将来的な運用費用や関係者負担の変動の見直し、民間事業者の参入可能条件などを検証・分析した上で、その次の段階として導入範囲や手法など事業スキームを検討する。

無電柱化の推進

これまでの進捗状況と今後の取り組みは。計画で位置づけた約17キロメートルの全区間で事業に着手したが、多額の費用に加え多くの関係者との調整を要したため、整備が完了した距離は約1キロメートルにとどまる。コスト削減が可能な工法を採用するほか、協定の締結により電線管理者が既設埋設管路活用区間の設計・施工を一体的に行い事業期間を短縮する。また研修会等で好事例を市町に紹介し、無電柱化の重要性への理解を促す。

暮らし・環境

リニア整備に伴う住民理解

補償確認書の締結をもって水資源問題の住民理解が得られたと解釈するのか。補償確認書は水利用に影響が生じた場合の補償対応を県とJR東海との間で合意したもので、流域住民代表の首長や利水者の同意を得た上での締結は大きな意義があるが、住民の理解が得られたと判断するものではない。まずはJR東海による丁寧な説明が必要であり、全28項目の対話が完了した際は自然環境保全計画書の内容を明らかにし、住民理解の促進に努める。

文化・観光

ロケツーリズムの推進

フィルムコミッションを活用した推進策は。ロケ誘致の中核を担う県内19のフィルムコミッションの活動により年間約1000件のロケ受け入れが継続しており、成功例共有など全県研修会を通じ受け入れ体制の底上げを図っている。コン



ロケ地マップ

テンツ地方創生拠点」の指定に向けた取り組みが県内で進んでおり、フィルムコミッションや市町等と連携し付加価値の高い観光サービスの提供などコンテンツを最大限に生かしたツーリズムを推進する。

用語解説

フィルムコミッション(Film Commission) 映画・テレビドラマ・CMといった映像作品のロケーション撮影が円滑に行われるための支援を行う団体で、①非営利公的機関②撮影支援の相談に対してワンストップサービスを実施③作品内容を選ばないの三要件を満たす公的機関を指す。地域活性化につなげることを目的として撮影支援を行う団体。

観光産業の持続的発展

観光施設等の受け入れ環境整備に対する支援策は。市町が事業者と連携して加価値化事業に対し新たな支援制度を創設する。具体的にはインバウンドの受け入れ拡大に向けた宿泊施設の改修や、訪日客向け体験施設の設置な

官民連携によるインフラ管理 上・下・工業用水道事業の官民連携の進め方は。



ど受け入れ環境の高付加価値化を支援する。また施設のリノベーションを支援し観光地域全体で受け入れ環境の魅力を引き上げ、旅行者の滞在長期化と消費額拡大を図り、稼げる観光産業の実現を目指す。

### 富士登山条例制定の評価

**Q** 登山規制の効果や入山料の使途、課題改善に向けた取り組みは。

**A** 夜間入山者数は前年比で約6%減少し、遭難救助件数も減少するなど混雑緩和や事故防止に一定の効果があった。入山料は気象情報発信や山小屋トイレ改修など安全対策や環境保全等に活用した。山梨県側との開山日統一は、まずは須走ルート(7月1日)にする方向である。また幼稚園・保育園の自然観察行事も入山料減免の対象とするなど子どもの負担軽減を検討する。

### 医療・福祉

#### 看護職員の勤務環境改善

**Q** 勤務環境改善の推進に向けた取り組みは。

**A** 社会保険労務士等を派遣し勤怠管理や時間外勤務削減の取り組みへの助言、その実施に必要な機器整備への補助を実施してきた。今後は限られた人数で質の高い看護を提供できるよう業務効率化に取り組むことが必要であるため、新たな看護提供方式の導入やICTを活用した看護DX等県内病院の新しい取り組みの成果や課題等を把握するとともに好事例を研修会等で情報提供し、横展開を図る。

### 手話普及の取り組み

**Q** デフリンピックを契機とした手話によるコミュニケーション普及の取り組みは。

**A** 「(仮称)手話サポーターネットワーク」を立ち上げ、登録サポーターに親子手話教室への協力や県聴覚障害者協会主催のデフスポーツ大会での応援、啓発等により手話普及に貢献いただくと。東部地域開催の若年層向け手話サポーター養成講座を中部地域で開催する他、専門的に学ぶ意欲のある若年層を対象に手話通訳者養成講座を新たに実施し、後継者養成につなげる。

### 産業

#### 遠州灘海浜公園の整備

**Q** 遠州灘海浜公園(篠原地区)の整備の進め方は。

**A** 県の厳しい財政状況を踏まえると、理想の公園施設の実現にはいかに民間投資を呼び込めるかが最大の鍵となる。民間投資の可能性を少し時間を掛けて見極めていくため、投資呼び込みの観点から行政負担の上限と期限を設定した上で浜松市と共に可能性を深掘りする。行政負担の上限は基本計画を踏まえ草薙球場相当に、期限は既事業認可区域の用地取得完了目標である令和10年度末と考えている。

#### 企業投資を促す産業基盤整備

**Q** 産業用地供給の加速化に向けた取り組みは。

**A** 開発候補地R&Aサポートセンターを設置しDXを活用した候補地の分析のほか、用地開発について市町と意見交換するなど市町伴走型の支援を行っている。企業の需要に応えるため、売却先決定前に造成を開始するレディモード方式に積極的に取り組み。令和8年度には開発や販売計画の立案等を行う開発センターを設置し、体制を強化した上で市町と連携し用地供給の一層の加速化を図る。

か、用地開発について市町と意見交換するなど市町伴走型の支援を行っている。企業の需要に応えるため、売却先決定前に造成を開始するレディモード方式に積極的に取り組み。令和8年度には開発や販売計画の立案等を行う開発センターを設置し、体制を強化した上で市町と連携し用地供給の一層の加速化を図る。

#### 用語解説

開発候補地R&Aサポートセンター

工業用地が不足する中、新たな開発候補地を確保するため令和7年度に企業局が設置。R&Aは、Research and Analyzeの略。企業局が過去に実施した調査や独自に保有する情報等の分析を行い、市町との個別協議や相談を通じて新たな開発候補地の掘り起こしを図る。これまでに4市3町に対し、情報提供等を実施している。



富士大淵工業団地

#### 有機栽培茶の拡大支援

**Q** バリューチェーンの構築に向けてどう取り組むか。

**A** 有機栽培茶の輸出を重点事項とし、生産から販売

の各段階で価値を高めるバリューチェーンの構築を進めている。生産面ではコーディネーターによる技術支援や、輸出拠点工場を認定し供給力の強化支援を継続する。流通・販売面では欧米等市場動向の提供により消費実態に応じた商品開発支援や、海外展示会出展支援での商談機会創出を図る。また、静岡茶のブランド発信を通じ認知度を高める。

#### 企業の県産材利用促進

**Q** さらに利用拡大に向けた取り組みは。

**A** 県産材利用の建築物への表彰や環境貢献度を見える化する炭素貯蔵量の認定により、意識の醸成を図ってきた。今後は企業との連携により具体的な行動につなげるため、企業の取り組みに対し県が情報提供等の支援を行う協定の締結を積極的に推進する。また企業が県産材を利用しやすい環境を整備するため、県産材利用を提案する設計者の育成や県産材利用の建築物への助成制度の普及を進める。

#### 農林水産業の試験研究

**Q** 持続的発展に資する試験研究機関の取り組みは。

**A** 農林水産業の技術的な諸課題を打破するため生産性の向上、ブランド力の強化環境に適応した技術開発を重点に置き、果樹園におけるドローン防除に適した樹形開発茶やワサビのオリジナル品種の早期育成、施設園芸における気候変動リスクを軽減する技術開発等の試験研究に取り組む。優秀な研究人材の育成に向け、資質向上プログラム

や若手研究員のチャレンジを促す研究枠の新設を行う。



高温耐性品種「静岡16号」

### 教育

#### 国際バカロレア教育の推進

**Q** 受講を希望する生徒への支援と教育手法の本県全体への普及策は。

**A** 中学生対象の模擬授業や個別相談会等を通じて深く探究するプロセスの魅力を伝え、早期から本教育に触れる機会を創出する。ふじのくに国際高校入学後の生徒に対しては定期的に説明会や面談を行い、挑戦したい生徒の後押しに努める。今後は拠点校を中心に探究学習を推進する探究コンソーシアム等の枠組みを活用し、県内全域への指導ノウハウの展開に取り組む。

#### 県立高校定時制等の環境整備

**Q** 多様な教育的ニーズを持つ生徒が安心して学び続けるための体制づくりは。

**A** 定時制課程に支援が必要な生徒が集中し、専門的支援体制の充実と教職員の負担軽減が課題である。外部講師を活用した通級・日本語指導や学習支援、居場所カフェの実施など効果的な取り組みの充実を図る。スクールソー

シャルワーカーを通じた関係機関との連携強化や、学校支援心理アドバイザーの活用により教職員が専門的助言を受けられる体制づくりを進める。

#### 用語解説

居場所カフェ  
生徒の悩みや課題の早期発見・解決を図るため校内に設置された場所。生徒が気軽に立ち寄り、大学生や地域の社会人などのボランティアスタッフと交流できる。令和4年度からモデル校で試行され、令和7年度は県内単位制定時制高校3校(三島長陵・静岡中央・浜松大平台)で実施されている。

#### 新県立中央図書館整備の進め方

**Q** プロジェクトチームで示された「見直しの方向性」に基づく図書館整備の方針は。

**A** 早期開館に向け、副知事統括の下に専任職を新設し、部局横断的な課題調整を通じて迅速な意思決定につなげる。基本構想は「見直しの方向性」に沿って令和8年度半ばをめどに改定し、県内図書館ネットワークの強化や効率的な蔵書保管方法を検討する。東静岡地区のまちづくりとの一体性を重視し、民間事業者へのサウンディング調査や埋蔵文化財調査を進める。

### 安全・安心

#### SNS型詐欺被害防止対策

**Q** 深刻化するSNS型詐欺被害防止の取り組みは。

**A** SNS型投資・ロマンス詐欺は、SNSやサイト上の広告等でだまされて送金するケースが多く、被害件数

・総額ともに増加している。県警察は、偽広告サイトをブロックするスマホ対策アプリの普及や各種媒体を活用した情報発信のほか、金融機関等と連携協定を締結し被害拡大防止を図るとともに、防犯講習会等を開催している。引き続き危機意識の醸成と関係機関と連携した対策を推進する。

#### ツキノワグマへの対応

**Q** 管理計画の内容と緊急対応体制整備の考え方は。

**A** 管理計画では人身被害ゼロを目標とし、生活圏への侵入と緩衝地域への定着を防ぐ取り組みや捕獲従事者の育成、継続的なモニタリング等を施策に掲げる。警察や猟友会との連携構築を図りつつクマの生態や現場対応に関する研修会等を定期的に開催し、関係者等と情報共有の体制整備を進める。また緊急銃猟発動を想定し、各地域の地形や居住等を踏まえた訓練の実施を促す。

#### 竜巻被災者の生活再建支援

**Q** 公平かつ柔軟な支援に向けた対応は。

**A** 同じ災害で同様の被害を受けた方には同一基準での支援が必要のため、法律の適用区域の不均衡解消を国に要望した。県独自の支援制度に備え、財政措置の充実も求める。半壊や準半壊の世帯に対する応急修理に加え、県独自に応急仮設住宅等の入居者に電化製品の貸し出しを行った。県や市町の役割分担を踏まえた負担の在り方を議論しつつ、災害規模や被害状況に応じた必要な支援を行う。



# ピックアップ委員会 ~常任委員会の質問と答弁から~

## 総務委員会

**Q** 令和8年度当初予算編成の考え方は。

**A** 新しい総合計画の基本方針「幸福度日本一の静岡県」の実現に向け、ウェルビーイングの視点を踏まえた予算編成を行った。編成に当たり雇用や所得向上、文化、多様性、医療、子育て等の政策テーマに関する挑戦的な事業立案を行う政策分野指定型や現場の政策提案を事業化する職員提案型、企業提案型など新たな政策手法を導入した。

## 厚生委員会

**Q** 在宅で人工呼吸器を装着している難病患者等の事前避難入院への助成内容の変更点および変更理由は。

**A** 台風等の予測可能な風水害が想定される場合の事前避難入院は保険適用外のため利用患者の自己負担が高額となる。現行の助成額では患者の負担感が大きく、利用が進んでいない状況に鑑み、入院費用の9割を県が助成することとし、事前避難入院の利用を広げていきたい。

## 建設委員会

**Q** 遠州灘海浜公園(篠原地区)整備において民間投資の可能性を深掘りする理由は。

**A** 活用提案公募の結果、一部の民間事業者から将来的には魅力的な投資案件になる可能性もあるとの意見があったこと、浜松市による道の駅や新武道館の計画が具体化し投資が呼び込みやすい環境が整いつつあることから行政負担の上限や検討期限を明確に示した上で民間投資の可能性を深掘りしていく。

## 危機管理くらし環境委員会

**Q** 富士山火山防災啓発推進事業に関し、降灰対策ガイドラインを神奈川県、山梨県との3県共同で作成する理由は。

**A** 2025年3月に国が公表した「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」は、避難基準や降灰量把握の実務的手法までは示されていないため、富士山周辺市町村における降灰対策について、統一的基準を定める必要があることから、3県共同でガイドラインを作成する。

## 産業委員会

**Q** 事業承継を契機とした後継者支援の新たな取り組みは。

**A** 後継者が自社の経営資源を生かして新たな挑戦を始めるための環境づくりとして、次世代経営者塾の開催による意識改革や新事業展開に向けたアイデア創出からビジネスプラン策定までの伴走支援など企業の成長段階に応じた支援を実施する。事業承継を契機に中小企業が成長する環境を整備し、さらなる地域経済の活性化を図っていく。

## 文教警察委員会

**Q** 静岡中央警察署の大規模改修の進め方は。

**A** 静岡中央警察署は1981年に建築され、庁舎全体の老朽化が著しいことから、現庁舎の骨組みのみを残し、狭小化した執務室のレイアウトの変更や省エネに配慮しフルリノベーションする。県警察では過去に同様の事例がないため各種法令等に精通した専門業者に委託し、令和8年度に事業全体の工事概要等の基本計画を策定する。

## 文化観光委員会

**Q** 日本平山頂シンボル施設における展望施設で利用料金金を導入するに当たってのサードピス向上策は。

**A** 現在、指定管理者からの要望、提案を踏まえて検討を進めており、展示内容の充実や魅力的な企画展の開催、富士山や駿河湾を眺められる特別席の設置などの案が出ている。2026年10月の制度開始に向け、より魅力的なサードピス向上策を検討し、実施していきたい。



日本平シンボル施設 (日本平夢テラス)

### 本会議・委員会を傍聴しませんか

6月定例会	
開会	6月18日
質問	6月23日・24日 ・25日・26日
常任委員会	6月30日・7月1日
閉会	7月7日

※日程は、今後変更になる場合があります。本会議、委員会ともに県庁本館4階で傍聴できますので傍聴希望の方は、直接お越しください。  
日程および傍聴に関する問い合わせ先  
県議会事務局議事課 TEL 054-221-3481

**託児所もあります!**  
希望の方は託児案内の二次元コードを御確認ください。  
※事前予約が必要です。



## 県議会トピックス

### 特別委員会による政策提言

富士山保全・適正活用推進特別委員会(委員長:良知淳行議員)、SNS適正利用対策特別委員会(委員長:佐地茂人議員)では、参考人からの意見聴取や先進事例の調査などをもとに委員間の討議を行い、報告を取りまとめ、2月定例会において知事に政策提言を行いました。

### 富士山保全・適正活用推進特別委員会

提言: 富士山の保全・活用とオーバーツーリズム対策



良知淳行委員長(左から3人目)から中田次城副議長へ報告

### SNS適正利用対策特別委員会

提言: SNSの適正利用対策



佐地茂人委員長(左から3人目)から中田次城副議長へ報告

### 写真コンクール 入賞者発表

応募総数 211点

たくさんのご応募ありがとうございました。入賞者は次の皆様です。特選作品、入選作品は、令和8年度発行の「県議会だより」に掲載します。

- 特選**
- 春の部 松浦 嘉人さん (浜松市浜名区)
  - 夏の部 高瀬 理絵さん (富士宮市)
  - 秋の部 原田 光郎さん (裾野市)
  - 冬の部 杉田 悠一郎さん (静岡市駿河区)
- 入選**
- 春の部 松ヶ下 孝平さん (浜松市中央区)
  - 藤井 昭浩さん (賀茂郡松崎町)
  - 夏の部 山本 武正さん (富士宮市)
  - 山本 寿子さん (富士宮市)
  - 秋の部 中野 進さん (富士市)
  - 仁藤 政孝さん (富士市)
  - 冬の部 望月 正晴さん (静岡市清水区)
  - 筒井 章さん (伊東市)

### 「春の部」入選作品



「桜で包み込む原谷駅」  
松ヶ下 孝平さん (撮影地/掛川市)



「河津桜咲く」  
藤井 昭浩さん (撮影地/賀茂郡河津町)

### 題字コンクール 入賞者発表

応募総数 109点

たくさんのご応募ありがとうございました。入賞者は次の皆様です。特選作品は、令和8年度発行の「県議会だより」の表紙に題字として掲載します。

- 特選** 藤下 憂翔さん (沼津西高校) 入選 齋藤 彩雪さん (浜松学芸高校)
- 本多 星和さん (常葉大学附属菊川高校) 松本 真歩さん (富士高校)
- 椎葉 海絵さん (静岡市立高校) 桶井 柚奈さん (沼津西高校)
- 衛藤 雪姫さん (三島北高校) 松江 美咲さん (静岡市立高校)

### 入選作品



齋藤 彩雪さん (浜松学芸高校)



松本 真歩さん (富士高校)



桶井 柚奈さん (沼津西高校)



松江 美咲さん (静岡市立高校)



プレゼント付  
応募フォーム

《問題》  
2月定例会では、映画やテレビドラマなどのロケーション撮影誘致の中核を担うフィルムコミッションと連携し、付加価値の高い観光サービスの提供など観光振興を図る○○○リズムの推進について質問がありました。  
※○に該当するカタカナ4文字をお答えください。(ヒントは2面にあります)

《応募要領等》  
①答え②住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、③県議会だよりのご感想や県議会へのご意見を添えて、5月11日(月)までに政策調査課あてに、ハガキ、FAX、Eメールまたは応募フォームでご応募ください。正解者の中から抽選で20名の方に、「虹色レモンシロップと塩漬レモンゼット」をお送りいたします。  
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
※個人情報情報は商品の発送と読者層の調査のために使用します。

■プレゼントのご紹介  
静岡県産レモンを丸ごと使い、味わいを余すことなく詰め込んだ無添加のレモンシロップ。「ふじのくに」新商品セレクション2025金賞を受賞した「虹色レモンシロップ」に、地中海地方等で親しまれている伝統的な万能調味料「塩漬レモン」をゼットにしてお届けします。



虹色レモンシロップと塩漬レモンゼット (写真はイメージです)

